

令和3年度 東京都立桜修館中等教育学校の適性検査問題の出題の基本方針等

1 出題の基本方針

- (1) 小学校で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
- (2) 与えられた課題の条件を整理し、論理的に筋道を立てて考える力をみる。
- (3) 身近な生活を題材としてその中にある課題を自分の経験や知識で分析し、考えや意見を的確に表現する力をみる。

2 適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱを実施する。

適性検査Ⅰ（45分）

(1) 出題の方針

与えられた題材の中から課題を見つけ、情報を整理し、自分の考えや意見を正しく表現し、的確に文章にまとめる力をみる。

(2) 問題の構成及び主なねらい

「言葉」をテーマとした文章の一部分を読み、著者の考えたことや自分の考えたことなどを、与えられた条件に則して80字、80字、500字以内で文章にまとめ、論理的に表現する力をみる。

適性検査Ⅱ（45分）

(1) 出題の方針

資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。

(2) 問題の構成及び主なねらい

- ・ 大問を3問とし、小問10問で構成する。
- ・ 立方体を題材とし、与えられた条件を基に、情報を整理して論理的に考える力、図形の性質を基に考察し処理する力、工夫して面積を計算する力をみる。
- ・ 木材資源を題材とし、複数の資料から読み取った情報を関連付け、それを活用して考察し、的確に表現する力をみる。
- ・ 身近な磁石を題材とし、実験の記録と磁石の性質を結びつけて考察し、的確に表現する力をみる。